

2024

「新しい学び」を見つける場所

経済学部
生になる

Econ.

名城大学 経済学部

経済学科・産業社会学科



見てみよう!
学科紹介
ショートムービー



学びの原点は、日常の些細なきっかけから。自分にしかできないことを学び、伝えていく。

1
年次

地域の魅力を見出し、効果的に伝える力を培う

高校で取り組んだ課題をきっかけに、経済社会への視野を広げたく経済学部へ進学。1年次の「基礎ゼミ」では、文献調査や研究発表の手法を学んだ上で、「地元の魅力を再発見して、効果的に伝える」という課題に取り組みました。出身地域である知多半島の歴史・観光をおもに関連データを踏まえて考察し、プレゼンテーション・討議を通じて、大学での学びの基礎を築きました。

2
年次

国際機関の報告書を通じ、途上国の実情にふれる

「外国書講読ゼミ」では、国際機関の報告書から途上国が抱える課題の解決策について学びました。英文の読解だけでなく、その社会的背景を仲間と議論しました。世界には、格差が居住地の隔絶を生んだ街や反社会的組織が暗躍する地域など、自分たちの“常識”が通用しない社会があります。データでは見えない現地の状況を知ったうえで話し合うことの重要性を学びました。

3
年次

戦争を体験された世代に学び、地域を再考する

3年次には、さらに歴史に目を向けて学びを進めました。愛知・名古屋の空襲をテーマとする「社会フィールドワーク」では、戦争体験者の講話や戦争資料館への訪問に加え、知多半島でも自主的に現地調査を行い、考察を重ね、報告書にまとめました。このプログラムでは、当時の産業技術が、今日の地域経済にいかにつながるのかを知り、経済社会への理解が一層深まりました。

4
年次

芸術と地域が共存する社会を目指す

高校時代から続けてきた演劇に関連して、「卒業研究」では、芸術と経済との関わりをテーマに取り組んでいます。近代イギリス文学・演劇と当時の経済・社会情勢に注目しつつ、最近では、芸術イベントの運営側に参画する機会を通じて、フィールド調査を進めています。卒業後は、地域イベントに関わる仕事に就き、これまでに得た知見を地域振興に活かしたいと考えています。



Sarugaku, Hidenori

4
年

猿樂英士

経済学科  できること。

身近にあるモノへの興味・関心から学びを得て、そこを起点に社会がより良くなる方法を見出す。

産業社会学科 できること。



Matsuda, Moeka

松田萌花

4

年

1

年次

多様な観点にふれ、経済学への関心が一段と高まる

日頃から経済の情勢を読み解く父の話にひかれ、自らも世界で繰り上げられる経済活動の仕組みを深く理解したく、経済学部へ進学。1年次に履修する「産業社会の経済学入門」では、毎回異なる教員から様々な分野の基本的なものの見方・考え方を学び、経済学への興味関心が一段と高まりました。また、これからの大学での学びについて、具体的なイメージを持つことができました。

2

年次

鍵は「人」。人と人の繋がりが経済を動かす

2年次からの「専門ゼミ」では、僻地において注目されるカフェへの関心から研究をスタート。複数のカフェを訪問してヒアリング調査を行いました。カフェ経営者からはご経験や想いをうかがい、お客様との関係性を重視する姿勢、地域住民との関わり、従業員を大切にすることの方針など、「人」がキーワードであること、そして人と人の繋がりが経済を動かしていることを学びました。

3

年次

地域や世界をより良くするサービスを考え続ける

「名城大学チャレンジ支援プログラム」に参加し、オンラインで、海外企業から提起された課題解決プロジェクトに現地学生とともに取り組みました。海外学生との協働を通じ、デジタル・ツールの有益性に気づきました。また、「起業経営論」の授業では、自らが「起業するなら」を考え続け、常に社会を観察し、地域や世界をより良くするサービスを思考することが習慣になりました。

4

年次

MaaSが実現する豊かな社会を探る

これまでの経験から、デジタル・ツールをうまく活用することで、社会がより便利で豊かになり得ることを実感し、「卒業研究」では、移動の利便性向上や地域の課題解決に役立つと期待されているMaaS(Mobility as a Service)をテーマに調査を進めています。日本ではまだ実証実験段階ですが、今後の普及に向けた課題の整理を進めた上で、具体的な解決方法を探りたいと考えています。



世界に 視野をひろげる

齋藤 智美ゼミ

世界経済とヨーロッパ経済

EU経済の分析を通じて、国家の枠組みを越えて活動が行われる経済の関係について考察します。

佐土井 有里ゼミ

東アジア経済の特徴を考察

「奇跡」から「危機」にいたる経緯とその後のリカバリープロセスを概観し、東アジア経済の特徴を考察します。

杉本 大三ゼミ

世界の農業の姿と経済発展

経済発展との関係を見据えながら、世界各地の農業がどのように変化してきたのか、またこれからどのように変化していくのかを考えます。

谷村 光浩ゼミ

「国際開発・協力」を考える

持続可能な開発目標(SDGs)が掲げられるなか、『世界がもし100人の村だったら』の現実等を踏まえ、私たちはいかにグローバル経済・社会を描き直せるかを討議します。

名和 洋人ゼミ

現代アメリカ経済の 論点に迫る

毎年テーマを設定して考察しています。2022年度は「トランプとバイデンの政策比較」「GAFA規制」「諸外国の高等教育における本人費用負担軽減制度」などのテーマに取り組みました。



日本・地域を もっと深く知る

伊藤 健司ゼミ

産業立地と地域経済

産業立地をベースに、多様な産業が地域でどう関わり、影響を与え、変化しているのかを考察します。

井内 尚樹ゼミ

地域経済の活性化をはかる

地域産業の実態を調査し、自然エネルギーを基礎とした地域経済の活性化策を考えます。

太田志乃ゼミ

地域経済と中小企業

地域経済を考える際、日本の企業数の大部分を占める中小企業に注目が集まっています。地域にとって必要な企業とはどのような企業か。主に企業へのインタビュー調査や文献調査から議論します。

渋井 康弘ゼミ

現代資本主義を分析する

ゼミ生同士、意見をぶつけ合い、経済理論を現実によって検証しながら、混沌として捉え難い現代資本主義を分析していきます。



市場の動きを 理論的に読み解く

川森 智彦ゼミ

ゲーム理論とその応用

各企業の利潤が他の企業の意思決定に依存していることがしばしばあります。こうした相互依存を分析する道具であるゲーム理論を学びます。

壺内 慎二ゼミ

社会問題の解決と株式投資

社会問題を株式投資で解決できるか検討し、その実効性を投資シミュレーションで検証します。

(2024年度 新ゼミ開講予定)

松尾 秀雄ゼミ

経済理論の学習・ 世界経済の分析

『資本論』や宇野理論をベースにした経済原論を研究。激動する世界や日本の経済を学ぶための基礎知識を深めます。

焼田 紗ゼミ

経済の諸問題について考える

現在、日本経済が直面している少子高齢化や社会保障といった諸問題について、経済理論を用いて考察します。



見てみよう！
レポフェス
ショートムービー



見てみよう！
少人数教育
ショートムービー



ゼミナール・レポート・フェスティバル(通称レポフェス)

2年次以上が所属する専門ゼミナールでは、自分たちの意見を分かりやすく伝える工夫をし、チームのみんなが力を合わせて研究成果を発表します。普段はそれぞれに活動しているゼミが一堂に会して、他のゼミの学生や教員と意見交換する場にもなっています。



データ データを通して 社会をみる

勝浦 正樹ゼミ 経済データを 統計的に分析する

自分の興味のあるテーマについて、データを収集した上で統計的に分析し、結果に解釈を与えるといったスキルを身につけます。

蟹 雅代ゼミ 企業活動について データ分析する

イノベーション活動や投資など企業や産業にかかわるテーマを取り上げ、データを用いて実証分析します。
(2024年度 新ゼミ開講予定)

澤田 彰博ゼミ 実証経済分析を学ぶ

統計的・計量経済学的手法に基づき、現実経済を実証的に分析するための方法論と実際に学びます。

野口 光宣ゼミ 不況からの脱出は可能か

GDPの算出方法を理解したうえで、ケインズ政策の有効性について考えます。



歴史・思想から 現代社会への ヒントを得る

赤木 誠ゼミ 経済・社会を史(し)る

西洋の経済・社会の歩みを中心として学ぶ中で、社会にでて必要とされる社会人基礎力を養います。

大瀧 真俊ゼミ 歴史の視点から 今の日本経済をみる

近現代の日本経済史を学ぶことを通じて、今の経済問題を長期的な視点で考える力を養います。

門 亜樹子ゼミ 「労働」を思想的に考察する

「労働」の本質をめぐる種々の思想を、経済学の古典とともに、哲学、キリスト教、啓蒙思想に関する諸文献を基に考察します。

西山 徹ゼミ ダニエル・デフォー 『ロクサーナ』を読む

文学作品を通じて経済学の世界にアプローチしつつ、読解力、文章構成力、プレゼンテーション能力などを磨きます。



未来のくらしと 環境を考える

伊藤 志のぶゼミ 日本経済の現状と政策

経済・社会の現状を分析し、理解することを目標として、日本経済と社会的背景・諸政策について学びます。

神野 圭介ゼミ 総合社会科学で これからの経済社会を考える

経済学・社会学・政治学・歴史学などの見識を学際的に結びつけながら、これからの経済社会のあり方をグローバルに考えます。

蓑輪 明子ゼミ 現代資本主義における 労働と生活

現在、私たちの社会は労働と生活をめぐる深刻な問題に直面しています。現状を分析し、これからの労働、生活、社会と経済のあり方を考えます。

山田 浩貴ゼミ 公共政策のあり方を探る

教育や医療、地域や環境など、社会のグランドデザインについて、公共政策の視点から考えます。また、経済理論も学びます。

山本 雄吾ゼミ 交通・物流サービスの諸問題

学生主体のレジュメ作成・報告・討論を通じて、交通・物流サービスの現状と課題を把握します。

李 秀澈ゼミ 環境と経済を考える

気候変動問題や原子力リスクなど人類の未来を大きく脅かす問題から、ごみ問題やPM2.5問題など身近な環境問題に至るまで、その原因、発生メカニズムを考察し、解決に向けた方策を探ります。

ゼミナールって 名城大学 経済学部 何ですか？

高校までの授業と大きく異なるのが、ゼミナール(通称:ゼミ)。専門分野の知識や技能を身につけるため、少人数クラスで行われる課題探究型の授業です。自ら希望するゼミを選び、仲間とともに関心をよせる研究課題に取り組みます。進め方は担当教員によって異なりますが、研究報告を行い、それに基づいて議論を深めるのが、ゼミの一般的なスタイルです。経済学をベースにした専門的な分析力と課題解決力を高め、自分たちで検証・反証した結果や、修正・構築した理論などは、レポートに取りまとめます。そして、その集大成が4年次に作成する卒業論文です。



経済学部ならではの新入生歓迎行事 デイハイク

経済学部では4月に新入生歓迎の「デイハイク」を開催しています。このイベントでは、中山道の妻籠などを、新入生と教員が一緒になって歩きます。かつて木曽川をくだり名古屋に来た木材が愛知の木工業を支え、それがやがて世界的な機械工業へと成長したこと、木曽川水系の水力発電所の数々が、中部地域の電力システムの基礎になったこと—こうした歴史を予め集中講義で学び、デイハイクではそれらを体得します。



見てみよう！
デイハイクショートムービー



経営トップの生の声を聞く 起業講座

「起業講座」は、2000年の経済学部・経営学部発足時から両学部共催で開講しています。このプログラムは、経営者の考えを直接聞くことができる授業科目であるとともに、地域住民の方々にも広く開放されてきた取り組みです。中部圏を中心とした企業のトップの方々を講師にお迎えし、授業で学ぶ経済理論などがどのように実践されているのかを知ることができます。地域に根ざした名城大学ならではのユニークな講座として定着しています。

経済理論を学ぶとともに、実践的な活動を行い 知性と実行力を兼ね備えた人材を育成。



見てみよう！
フィールドワークショートムービー



現実の社会に直接ふれる 社会フィールドワーク

現実の社会に直接ふれて自ら考えて行動し、実践的能力を身につけるユニークな授業が「社会フィールドワーク」です。通常、教室での学習と学外での見学や調査とを結びつけながら授業が展開されます。自ら調査項目を考えてアンケートなどを作成し、実際に現地調査に出かけます。教室で事前学習したことを現地で確かめたり、現地で疑問に思ったことを教室に戻ってさらに調べたりします。プログラムの最後には報告書などの取りまとめを行います。



異文化を肌で感じる 国際フィールドワーク

「国際フィールドワーク」では、夏季休暇などを活用して、韓国、台湾、シンガポール、アメリカ、イギリス、オランダ、フランスなど、さまざまな国を訪問します。それぞれのコースでは、主に現地企業、行政機関、経済団体などを訪問して、グローバル/ローカルな経済について学びます。また、現地では提携大学とワークショップを行うなど充実した内容です。観光・見学旅行ではない、貴重な体験を得ることができます。

先輩の学びのスタイル

多彩な国々の人々や文化に触れることは、グローバル化が進むこれからの時代に必要不可欠。名城大学では、専門的能力を高めると同時に、グローバル人材としての素養を身につけるための多様な機会を設けています。



多様な考え方に触れる日々 海外での経験が未来の糧になる

ブリストルの語学学校の
クラスメート



■海外の学生から受けた刺激

私が所属しているゼミでは、アジア経済に関する研究を行っています。経済発展の経緯と文化を中心にアジア各国の多様性、価値観、歴史、政治などを学んで考察します。そのため、アジア各国の大学との交流の場がたくさん設けられています。シンガポール国立大学、ベトナムのハノイ経営工科大学、マレーシアのマラヤ大学の学生とWeb会議サービスを使って交流を重ね、英語でプレゼンテーションやグループワークをしたことも貴重な経験です。グループ内でのディスカッションを通して、自分の考えを言葉にする機会も多く、知識を得るインプットだけでなく、アウトプットする場としてもとても充実していました。また、質疑応答で積極的に発言する同世代の彼らが、英語を流暢に話すことに驚くとともに、自分にはない視点で物事を考える学生がとても多く、そのギャップを知ることが新鮮で楽しかったです。

Nozoe, Mao

4
年

野副真生

産業社会学科



■留学を通しての学び

元々学生の間に留学することを計画していました。新型コロナウイルスの流行により学内プログラムでの渡航を伴う留学が一時中断となりました。周囲は就職活動の話題でもちぎりましたが、留学したいという気持ちが揺らくことはなく、2022年4月から2023年2月中旬までイギリスの語学学校に留学しました。留学先は(1)治安が良く住みやすい(2)日本人が少ない(3)都会過ぎず田舎過ぎないという私の希望を満たす、世界的に有名な覆面アーティスト・バンクシーの出身地のイングランド南西部ブリストル。留学を通して様々な経験をしたことによって自信が付き、何事も積極的に参加するようになりました。留学前の私は失敗が怖くて“石橋を叩いて渡る”性格でしたが、受動的になっていたらせっかくのチャンスも逃してしまうということを実感できたのが良かったです。帰国後も留学中一緒に過ごした友達とは連絡を取り合っています。当初は不安に感じていた留学に思い切って挑戦してみたことで、かけがえのない経験や友達を得ることができました。

これから社会人になっていく中で競争相手が世界中の人々になるので、英語に加えてもう1つ、自分が存分に力を発揮できる領域を見つけなければいけないと強く感じています。もし留学に少しでも興味を持っていれば、勇気を出して行ってみることをお勧めします。4年しかない大学生活、悔いのないように過ごしてほしいです。名城大学はチャレンジしようとしている学生には手厚くサポートしてくれますので、貴重な時間をぜひ素晴らしい経験に使ってほしいと思っています。



Webサイトで 経済学部をチェックしよう!

ゼミナールやフィールドワークをムービーでご紹介しています。



見てみよう!
高い就職率
ショートムービー



先輩からのメッセージ



経済学科

4年 安藤空我

ゼミナールでは自分の興味をもとに研究テーマを設定します。討論やレポート作成を重ね、社会人に必要な資質を身につけていきます。経済学部の行事では、レポート・フェスティバルでの発表のための工夫が、社会に出た時にも役に立つと思います。



経済学科

4年 石谷知由

大学ではクラスという単位がないため、入学したての頃は周りの人とつながるきっかけが掴みにくいと思います。語学クラスや基礎ゼミナールのような少人数の授業では、名前と顔を覚えやすいし、自分から声をかけると喜んでもらえると思います。



産業社会学科

3年 川上花音

名城大学のキャリア支援プログラムは、個別指導担当制。学生一人ひとり就職支援グループのスタッフの方が担当者として一貫してサポートして下さるので安心です。1年次から授業内での発表で相手にわかりやすく伝える力を身につけてください。



経済学科

3年 浅野 光

経済学部で開講している科目に高度な数学は必要ではありません。経済事象に対するアプローチによっては、数学を使わずに経済学を学ぶことも可能です。ただし、数学を用いることにより理解の速さや深さが飛躍的に向上すると実感しています。



経済学科

3年 田中貴翔

学業とクラブとアルバイトに頑張っています。オン・オフのメリハリをつけて行動することは、社会人になっても同じでしょうから、1年次から練習だと思って、優先順をつけてスケジュールを立てて、学ぶことも遊ぶことも、楽しめるように頑張ってください。



産業社会学科

3年 村田咲季

名城の最大の強みは学部生の数が多いこと。2022年10番目の学部となる情報工学部が設置され、総合大学ならではの学びの広さが魅力。さまざまな考え方をを持った人たちとつながりを持てるし、お互いに刺激を受けあって向上していける環境です。



経済学科

3年 三輪優太

課外活動は本当にオススメ。名城にはクラブが130以上もあってボランティア活動も活発だから、ぜひ参加してほしいですね。人脈は絶対に将来の財産になるので、早いうちから意識的に多くの人と知り合うための行動を起こした方がいいと思いますよ。



産業社会学科

2年 松葉涼花

「就職に強い」が、大きな魅力です。1年次から将来やキャリアについて考えられるように、個々に合わせた支援プログラムが実施されています。早くから、夢をかなえるために将来の進路を意識した学びや学生生活を送ることができます。



産業社会学科

3年 山本希世子

名城は施設設備に恵まれていると思います。講義と講義の間の空き時間に、課題を進めたり友達と情報を交換したり時間を有意義に過ごすことができるスペースがたくさんあります。附属図書館やグローバルプラザなども活用してください。



産業社会学科

2年 武庫川裕夫

所属しているラグビー部では、週6回、筋トレや走り込みなど練習に精を出しています。勉強もクラブ活動もアルバイトも自分で選んだことから、とても充実した学生生活。皆さんも気持ちを込めて取り組める「何か」をぜひ見つけてください。

Econ.

名城大学

経済学部

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地 TEL:(052)832-1151(代)